

# 合格験担ぎ 石でネジで

大学入試センター試験(14、15日)が迫るなど受験シーズン本番を迎え、今年も合格を祈願するスポットや験担ぎのグッズが人気を呼んでいる。「落ちない」「滑らない」「勝つ」といった縁起のいい言葉にちなんだいわれもあり、御利益に期待が集まる。グッズを出している企業には、販売の促進や自社のPRにつながる狙いもあるようだ。

江戸時代に「鼠小僧」として知られた次郎吉の墓がある東京都墨田区の回向院。狙った大名屋敷にするりと入り込んだ次郎吉に、やかろうと、年の瀬から足を運ぶ受験生らの姿も目立つ。

鼠小僧の墓  
日には順番待ちの列もできたといい。同寺では「墓石に刻まれた戒名が『教えを速やかによく覚える』と読めることから、合格につながる」と説明する。次男の高校受験を控えた区内の女性「息子にも御利益を」と話していた。

合格祈願の主なスポット・グッズ	
名称	いわれ、由来など
巨岩(宮城県石巻市)	斜面から突き出た岩。1978年の宮城県沖地震、東日本大震災の際も落下せず、「落ちそうで落ちない」と話題に
「すべりくい」特製お守り袋	氷上でも滑りにくいブリヂストン製のタイヤ用発泡ゴム入り。12月から3月まで計2525(ニコニコ)人にプレゼント
滑り止めの砂	山陽新幹線でブレーキ作動時、車輪とレールの摩擦を高めるために使う砂を袋詰め。13日に博多、小倉駅で配布
ココナッツサブレ(ココナッツサブレ)	「ここぞの場面で勝つ」の語呂にちなむ
ハッピーターン(米菓)	日本語訳で「幸せが戻ってくる」

と、元々は青銅製の座像だったが、関東大震災で頭部が落下、戦時中に胴体や脚部を国に供出して顔面だ



## 「落ちない・滑らない」名所やグッズ人気

けが残った。こうした経緯から「これ以上は落ちない」と、受験生らが訪れるようになり、今年も合格祈願の絵馬で二つの絵馬掛けはいっぱいになった。

「落ちない」「滑らない」とうたった合格グッズも数多く登場している。千葉都市モノレール(千葉市)は今シーズン、つり下げ式車両の安全装置に使うワイヤを2センチほどに切ってカプセルに入れた「落ちないお守り」(1個400



境内に立つ鼠小僧次郎吉の墓石。参拝者は手前の石「お前立ち」を削った粉をお守り代わりに持ち帰る(東京都墨田区の回向院で)



「合格」に引っかけた頭が五角形のゆるみ止めねじ

円)を3000個用意。すでに約1800個が売れた。担当者は「安全を守り続けたい縁起の良いワイヤ。クラスの生徒全員分をまとめて購入する先生もいた」と言う。入谷(Yes工房(宮城県))は、地元特産のタコをかたどった3種類の文鎮「オクトパス君」(1個1500円)を販売。タコを意味する英単語と「置くとパス(合格)」を引っかけたという。ねじ製造大手の日東精工(京都府)も、「合格」の語呂に合わせて、頭部が五角形の「ゆるみ止めねじ」を12月から3月まで毎月、100人(申し込みに順)にプレゼントしている。担当者は「気を緩めず、成功をつかんでほしい」と言う。

- ▲験担ぎで合格つかめ 11
- サムゲタン 家庭でも 2
- 伝統芸能 プロに習う 5
- 本の福袋 意外な1冊 10
- 七草がゆ 健康願って 11

1面の目次にも掲載されました

